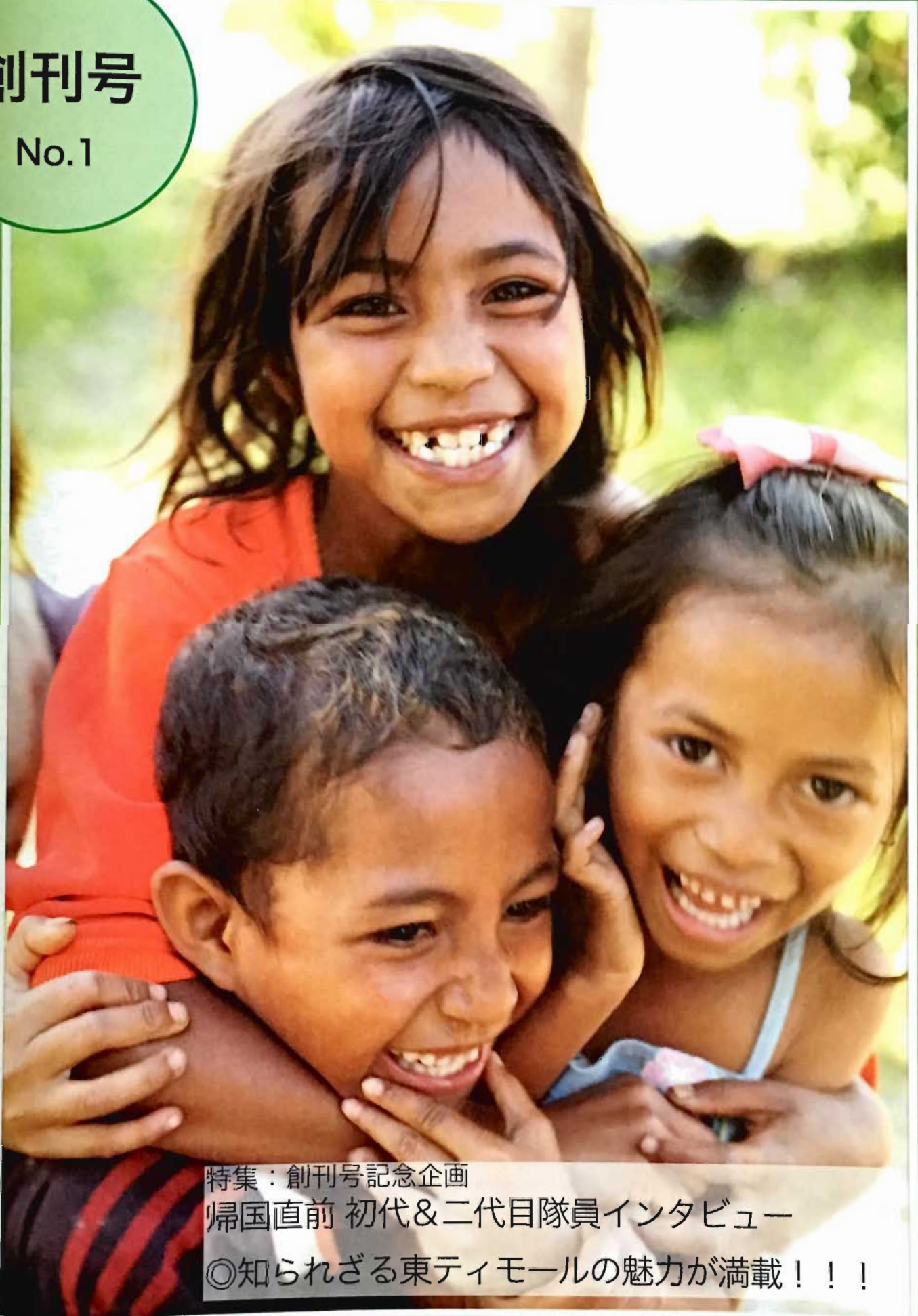


HADOMI no DAME

- LOVE and PEACE - JICA東ティモール青年海外協力隊機関誌 2013

創刊号

No.1



特集：創刊号記念企画

帰国直前 初代&二代目隊員インタビュー

◎知られざる東ティモールの魅力が満載！！！！



HADOMI no DAME

東ティモールでHADOMIは愛、DAMEは平和を意味します。

多くの苦難を乗り越えて21世紀最初に独立した国、東ティモール。
この国の歴史を語る上で、そしてこの国の未来を語る上で欠かせないのが、

HADOMI (愛) とDAME (平和) です。

東ティモールに愛と平和が続くよう願いを込め、
この機関誌をHADOMI no DAMEと命名しました。

目次

創刊号によせて	1
東ティモールってどんな国？	2
東ティモール隊員全員集合	4
JICA東ティモール事務所 職員のみなさん	6
創刊号記念企画 帰国直前 隊員インタビュー	8
平和構築を目指して 阿部 真	
DRAMA! DRAMA! DRAMA! 阿久津 寛美	
ファインダーが捉える心 矢加部 咲	
一村'逸'品運動を通して 鈴木 哲史	
乗りこなせBEMOO ～マイクロレット虎の巻～	16
ディリの歩き方	18
ぐるなび@TIMOR	20
とある学生の一曰	22
あの人は今！？	24
協力隊OV 藤長礼子さん	
協力隊OV 下山志帆さん	
JICA職員 奥村将巳さん	
東ティモールにおける高等工学教育の支援に携わって	30
フォトギャラリー	32
つぶやき帳	34
編集後記	35

創刊号によせて

東ティモールJICA事務所

たかたひろひこ
高田裕彦 所長



多様な経験を次代の隊員へ

やっと「機関誌を出そうか」という人数になったのですね。

2011年の6月に阿部さん、鈴木さん、矢加部さんの3人が赴任し、その後、9月に阿久津さんが加わった後も2つの配属先に4人の隊員がいるだけの日が続いていました。2013年になり、原澤さん、河西さんが派遣され、続く(25年度)1次隊では5人がこれに加わる予定と、少しずつではあるものの、派遣の規模は大きくなりつつあります。最初の長期派遣隊員となる23年度1次隊の3人とラモス=ホルタ大統領(当時)を表敬訪問した際、「日本は大きな国なので、100人規模で隊員を送って欲しい」と言われたのを思い出します。

東ティモールの現状をみると、協力隊の活躍の場はたくさんあると思います。100人規模での派遣には至らないまでも、少しずつでも隊員

の活動の場を開拓していくことは、この国の開発のためにも大切だと思っています。

その一方で、これまで活動してきた隊員の皆さんには、それぞれにいろんな思いがあったのでしょうか。活動のこと、生活のこと、人間関係。人数が増えると、増えた分だけこうした思いも多種多様になってきます。こうした経験を仲間と共有し、次の代の隊員に伝えていくため機関誌を出すのはいい試みですね。機関誌を作るプロセスで、仲間の隊員といろいろと話し合い、「東ティモールってどんなところ?」という自分自身の東ティモール観について見直してみるのもいいですね。

とにかく楽しそうな試みなので、定期的に機関誌の発行が続けられることを期待しています。

(AKT)

東ティモールってどんな国？

○東ティモール基本情報

国名の正式名称は「東ティモール民主共和国」といいます。場所は東南アジアの南、インドネシアとオーストラリアの間にある島国です。

言語はテトゥン語とポルトガル語が公用語です。教育現場では、英語、テトゥン語、ポルトガル語の3つの言語を教えています。

国土の約6割は山岳地帯となっていて、最高峰は2963mのラメラウ山です。気候は高温多湿の熱帯性気候で、一年を通じて気温は約30度前後。乾期と雨期の二つの季節があります。

2008年での全人口は114万人、75%が25歳以下と大変若い国です。1日2ドル未満で生活する貧困層は77万人と推定され、国民の過半数を占めています。

宗教は国民の99%がキリスト教（カトリック）で、町の至る所に教会があります。

スポーツはサッカーが人気で、夕方涼しくなると、町中の至る所でストリートサッカーが行われています。

○東ティモール独立小史

16世紀	ポルトガルの植民地に
1859年	西ティモールをオランダ領として割譲 東西に分裂
第2次世界大戦時	オランダ領東インド地域と併せて日本が占有
1949年	インドネシア領の一部として西ティモールが独立
1975年	インドネシアによる東ティモールへの侵攻開始
1976年	インドネシアがティモール全土を制圧 インドネシアの併合宣言
1991年	サンタクルス事件 平和的デモ隊にインドネシア軍が無差別発砲
1998年	東ティモール特別自治権の付与を問う住民投票
1999年	国連軍を東ティモールに派遣。 独立に関する住民投票の実施し、独立が決定。 直後、インドネシアによる破壊行為が激化。
2002年	東ティモール独立



東ティモールの国旗。独立運動で使用されていた旗がそのまま国旗になりました。独立までの過程で犠牲になった人々や、今抱える国家の問題を乗り越えて、平和な未来を目指すという意味を表しています。



日本のほぼ真南に位置しているので、時差はありません。

○東ティモールの習慣・風習

東ティモールでは挨拶する際に握手をします。握手は相手との仲を表すバロメーターで、初対面の時は軽く握り合いますが、仲良くなると固く握手をした後にもう一度親指を絡めて握手をします。子供の場合は、握手の代わりにハイタッチする姿もよく見かけます。

親友に近い間柄になると、肩をお互いにぶつけ合います。日本ではこの行為は喧嘩を売る際に使われますから、勘違いをしないように注意して下さい。

尊敬している相手の場合は、相手の手の甲に額に当てます。子供の場合は相手の手の甲に軽くキスをします。

「あっかんべ」は日本と同様に「嫌い」という意味ですが、ティモールでは性的な意味を含みます。また、額を指でなぞる動作は「狂っている」という意味があるので、これらは使わないように注意して下さい。

最後に、人前で恥をかく事を極度に嫌う傾向があるので、人目に付かないところで注意するなど、気をつけて下さい。

○東ティモールのお祭り

東ティモールでは過去にポルトガル領であった経緯もあり、ポルトガルの有名なカトリック司教セント・アントニオの誕生日になるとお祭りが開催されます。町中の至る所に「アルク」と呼ばれる飾りが見かけられます。これは木の幹に枝を刺して、それにココナッツの葉を巻き付けたもので、「ようこそ」という意味があります。色々な人に気兼ねなく参加して欲しいという気持ちを表しています。もちろん我々日本人も参加出来ます。

この飾りがお祭りの始まる合図で、定刻になると教会から市内の各コミュニティまでセント・アントニオの像を大勢で担いで運びます。各コミュニティに像を運ぶと、そこでみんなでお祈りをします。その後、また別のコミュニティまで像を運び、最後には教会に像をもどします。伝統的な音楽や衣装と共に、市内を大勢で歩く様子は日本の御神輿にとっても似ています。

日本とは違い、道路交通局に許可をとる風習はありませんので、お祭りが始まると途端に道路が大渋滞となります。各コミュニティの若者が道路を封鎖してしまうためです。それでも混乱が起きることは無く、御輿が通り終わるまで静かに待っている様子を見るとこの国の信仰心の深さやおだやかな気質を感じることが出来ます。

(RWNS)



お祭りのときはココナッツの葉を器用に巻き付けたアルクが町中に。



セント・アントニオ像を担ぐ姿は日本の神輿を思わせる。

★東ティモール隊員全員集合★

初代長期隊員から新米隊員まで、とっても癖のある個性豊かな東ティモール隊員をご紹介します！

あべまこと

阿部 真 まこっちゃん

H23-1 プログラムオフィサー@NGO Ba Futuru(バフトゥル)

活動：平和構築・児童保護事業のマネジメント

休日：家でボーッ 家でゴロゴロ ピーチでボーッ ピーチでゴロゴロ

【THE協力隊な出来事】

朝起きたら、家の柵の中に2頭の牛が、庭の草を食べていた。

「あ、今日も来たのね^^」

【THEティモールな出来事】

ヤギを背中におんぶしながら。バイクをかつ飛ばすおじさん

「背中あったかいんだろうな」

墓石の上に乗るヤギ どことなく勇ましい

【ティモールベストスポット】

自分の住んでいる場所の目の前にあるセメタリービーチ。

朝から波の音を聞きながら、コーヒーを飲む。

これぞティモール！



すずきさとし

鈴木 哲史 すずきさん(誰かチャーミングなあだ名付けて)

H23-1 村落開発普及員

@農業水産省アグリビジネス局

活動：事務所の鍵の開け閉め 局長の愚痴の聞き役

休日：Timor TelecomとTelkomcelのネット価格差研究そろそろTelemorにも手をつけようかと…

【THE協力隊な出来事】

どうしても自分で仕事をしてしまいがちで、同僚に「うまくみんなの仕事を作れないでごめん」って言ったら「俺達の仕事はマラエ(外人)を補佐することだから平気さ」と…。ある意味本質をついてる!?

【ヒトコト】

最近、ティモール人からインドネシア語で話しかけられません。理由が分かる人は教えて下さい。



やかへさき

矢加部 咲 やかべし

H23-1 写真@NGO Ba Futuru (バフトゥル)

活動：写真クラスの講師 休日：家で読書

【THE協力隊な出来事】

生徒と一緒にトレーニングに行った先で、大雨。全身びしょぬれ、テントは浸水。無事だった2人用テントで4人でくっつき合って眠ったこと。背が小さくて良かった～。

【THEティモールな出来事】

アタウロ島に行ったとき小さな漁船で遭難した。遭難しながら見た夜光虫と星空が呆れる程綺麗だった。

【ティモールベストスポット】

マロボ温泉。温泉好きには堪らん。ポルトガル時代に作られたプール状のところより、横にある川の中の方が風情があって◎



あくつ ひろみ

阿久津 寛美 mana Omi

H23-2 青少年活動@NGO Ba Futuru (バフトゥル)

活動：ドラマのファシリテータ こどもアクティビティ 日本語クラス

休日：土曜バドミントン 日曜合気道 食材調達のスーパー巡り

【THE協力隊な出来事】

タシトルに友人らとウォーキングに。20分程で大きな道路にでたら、なんとそこは隣のリキサ！整備された道を急ぐも、歩けど歩けどディリに着かず。それもそのはず、スタート地点の山は地元の人が使うリキサへの近道。もう日が落ちる寸前、なんとかヒッチハイク…初めてのヒッチハイクはティモールで、しかもUNポリスの友人と…

【THEティモールな出来事】

コカコーラ75セント、オレオ40セント。5ドル払ったらお釣りは4ドル75セント。いっつもお釣り間違ってるよ～！



はらさわ けんじ

原澤 研二 はらけん

H24-3 合気道@東ティモール国家警察訓練学校

活動：稽古 休日：稽古

【THE協力隊な出来事】

配属先に、屋内訓練設備なし+畳なし=青空合気道

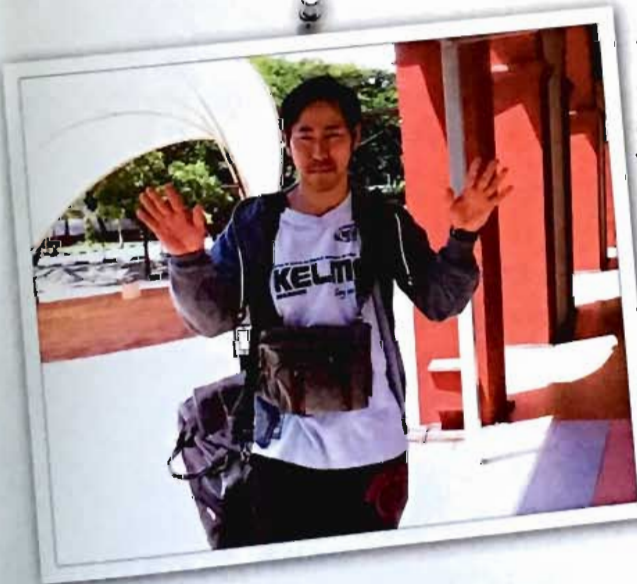
【THEティモールな出来事】

合気道協会の代表に会いたくて、彼の名前だけを頼りにそこらの人に聞きまくったら3時間で携帯番号ゲット！

【ティモールベストスポット】

自宅の前。

夜は時々大家さんが焼き鳥焼いて売ってます。大家さんは売るのは子どもに任せっきり。彼は焼き鳥をつまみにボクとビール飲んでます（笑）



かわにし ひろし

河西 啓至 かわちゃん

H24-4 機械工学@東ティモール国立大学工学部

活動：工作機械の実習指導、施設の改善

休日：運動してます

【ヒトコト】

来たばっかがよくわかりません！

(HRSW)



Omi先生の面白テトウン語のコーナー - isin rua -

元来isinは体、ruaは二つの意味ですが、ママと赤ちゃん合わせて体二人分から妊娠を意味する言葉となりました。ちなみに動物には使えません。

JICA東ティモール事務所 職員のみなさん

いつも隊員がお世話になっているJICA事務所のみなさんをご紹介します。
毎日の様に事務所でお世話になる隊員から休日の遊びでばかりお世話になる隊員まで…
色々な場面でお世話になっています！

そのべ かよ

園部 佳代 総務担当所員

仕事：総務 経理 円借款案件管理支援

休日：掃除・洗濯 おうちヨガ。海に出る。

THEティモールな出来事：

アイスクリームを食べているラモスホルタ（ノーベル平和賞受賞者）をティモールプラザのフードコートで見発見！！

ティモールベストスポット：

ラメラウ山の頂上(2960m)

インドネシア領西ティモールと東ティモールの両方が見渡せる！



配属先の同僚や住居の隣人に10年後、20年後が楽しみになるような人間関係を築いてもらえると良いですね。

協力隊員のみなさん

美味しいワルンがあったら教えて下さいな。



そうまあつし

相馬 厚 事務所員

仕事：事業とりまとめ 経済開発セクター PCシステム管理

休日：とりあえず家の中で過ごす。

ここが好きだよティモール：パリに近いこと

ここが困ったティモール：

年末になるとお店で売っている水（ペットボトル）が極端に品薄になる。



すずき まさひろ

鈴木 雅弘 事務所員

仕事：政府・公共セクターの能力向上プログラム担当

休日：昼寝 読書 ソフトボール ジョギング

ここが好きだよティモール：絆が強い家族・親戚・縁者

ティモール人が困った時にみせる微笑み（何の意味が!?!）

ここが困ったティモール：

時間感覚のなさ。約束の時間を守らないし、守ろうとも思ってなさそう。こればかりはどうにもなりません…



色々とお悩むこと、困難なことあると思いますが、協力隊は自分で仕事をデザインして、自分でそれを実行できるというとても自由度が高い活動だと思います。なので、自分が重要だと思うことにはどんどん挑戦して、充実したティモール生活を送ってください。でも、たまにはソフトボールにも来てくださいね！



その昔はそこ
にしかないもの
を一生懸命探し
ていたような気が
します。

だいこうひでと

大光 英人 企画調査員 農業/農村開発

『平成』59年度1次隊 ケニア 野菜栽培 OV

任地はMalindiといってインド洋に面しているイスラム
のにおいが多くある古い町で、バスコダガマの碑が
あったりしました。野菜は病虫害が多くてなかなか大
変でした。

仕事：東ティモールで最重要課題とされる食糧増産、特に
コメの増産に取り組むこと。国民の7~8割が農民と推定さ
れる中、農業による収入創出、アグリビジネスの推進。

休日：魚と向き合っています。陸の魚をゲットするとき
は、ティバルからレシデレまで物色し、ティリの道端の
各売り場をチェックしていると、いつの間にか2時間たっ
ていることも。また戻ってから買おうと思っても、そのと
きには欲しい魚はないので、結構判断に困ります。

やまねさちこ

山根 幸子 企画調査員 ボランティア

平成16年度1次隊 モルディブ 幼稚園教諭 OV
仕事：隊員の皆さんが健康で安全に活動が出来る
よう、陰ながら応援し、微力ながらお手伝い
しています。（足を引っ張っていることの方が多
い気もしますが…）また、東ティモールの開発
課題に沿い、かつ隊員の皆さんが充実した2年間
を過ごせるようなボランティア派遣の要請開拓も
行っています。

休日：野菜や果物をふんだんに使った太陽の恵み
スムージーの研究



私自身の隊員生活を振り返ってみても、この2年間は
特別な時間だったように思います。皆さんも、今まで味
わったことがないくらい、様々な感情を日々抱きながら活
動に励み、色々な経験を積んでいらっしゃるのではないで
しょうか。でも不思議なもので、帰国後、大概の嫌なこと
は忘れ、残るのは楽しかったり嬉しかったりしたことばか
りになります。ですので、隊員の皆さんには、失敗を臆す
ることなく、ここでしか、この時にしかできないことにた
くさん取り組んでいただきたいなと思っています。
万が一、上手く行かないことがあったとしても、それらは
必ず何らかの形でティモールの人々の役に立っています。
そして、私たち自身の成長にも、皆さんが胸を張って帰国
できるよう、事務所スタッフも応援しています！
～笑いながら風を受けよう 泣くのはいつでもできるから～



Gliana Maria da Silva Cardoso Machado JICA National Staff (Mainly work for JOCV Program)

Dear JOCVs, My name is Gliana Machado, I am writing this to thank you for your assistance in various technical fields that you have contributed to our beloved country Timor-Leste. I know your assignment only for 2 years and some of you are going back to Japan soon. Your charity, your maturity, your assistance, your kindness, your smartness will still in touch in your friend's mind who becomes your partner, colleagues, in working environment or social environment in your daily life. I know, you have experienced lots of things here and shared them all with Japanese community once you returned to Japan. Those who still here as new JOCV, please assist this country as well as possible through the skills and knowledge that you owned because your assistance will improve the skill of people whom you working with. And for new comer JOCV, Timor-Leste is a small country, new developing country that still facing lacks in many sector especially in term of human resource. People have motivation but because of lack of skill then they cannot improve the ideas that come out from their mind. Your present, your assistance to our beloved country is truly needed and it will useful for us as Timorese. Don't trust for the rumors regarding conflicts, unstable situations or bad things in Timor-Leste. How come you trust such kind of things if you yourself not experienced yet, not seen yet how does Timor-Leste like? Historically, Timor-Leste and Japan has ties because seventy years ago Japan colonized Timor-Leste but it in the past time and considered as a history. Presently, your assistance is very important to help this country through the knowledge and skill that you own. So, come and working together with us to develop this country for a brighter future because JOCV is a key to the world.

(HR.SW)

-配属先について教えてください。

配属先は平和構築と児童保護をメインの柱としているNGOで、基本的に暴力をなくすという事が活動の根幹にあります。そこから派生して色々なプロジェクトをしています。

-プログラムオフィサーとはどういった活動ですか？

基本的にプロジェクトマネジメントのお手伝いといった感じです。

例えば、プロジェクトごとに調整員がいるんですけど、彼がプロジェクトを管理、運営するのをサポートするような感じです。レポートを書いたり、プランニングを一緒にしたりしてます。

-カウンターパートはどのような人ですか？

僕はプロジェクトごとにカウンターパートが変わります。今二つのプロジェクトをしているので、カウンターパートも2人います。去年は4つプロジェクト【ノ】



阿部 真

平成23年度1次隊

平成23年6月にプログラムオフィサーとして赴任し、パフトゥル三人衆の一人として活動。大学院で平和構築に関わる研究をしてきた経験を生かし、専門性のある活動を展開している。

トがあったので、カウンターパートは4人いました。プロジェクトコーディネーターは他のスタッフと比べてかなり能力は高いと思います。詳細のところを【ノ】

隊員活動紹介 平和構築を目指して 阿部 真

「こんな方がいいじゃないか？」みたいな形でアドバイスしています。



-勤務体制を教えてください。

パフトゥルは週40時間働くのが基本で、勤務時間はフレキシブルです。なので、何時に出勤するといった決まりはありませんが、みんな8時か9時位に来て、夕方5時か6時位に帰っています。

活動に関しては、事業ごとの定期会議、マネジメント会議、事業の定期レポート書いたりといった感じです。年末は、レポートが重なるので、家に持ち帰ったりもしますね。レポートはプロジェクトごとに支援団体がいて、多くは外国の組織なんですけど、そこに定期的に進捗状況を報告しています。支援団体によりますけど、2ヶ月~3ヶ月ごとに、定期的に報告しています。パフトゥルは1年単位のプロジェクトが大概で、12月はレポートが重なる時期なんですよね。【ノ】

-プロジェクトについて具体的に教えてください。

コミュニティに行ったり、コミュニティから人を呼んでトレーニングするのが基本ですね。

内容は紛争予防・平和構築と児童保護についてのものが多いです。児童保護のトレーニングでは、虐待されている子供やストリートチルドレンを、先生やコミュニティの人達にどうやったら守れるかといったことを、多くのアクティビティを混ぜながら行います。

期間は平和構築は4~5日、児童保護は3日です。その成果は、トレーニング前と後でどこまで理解度が上がったか、同時にインタビューをして評価をしています。その後は追跡調査を3ヶ月ごとにしています。

トレーニングは行動が変化することを目的にしているので、実際に長期的な目で見たときに参加者にどれ位の影響があるのかは未知数ですね。だから、1年というプロジェクトの期間は、短すぎるって感じます。



もっといって、NGOってどうやってお金をやりくりするかという面があって、たまに嫌になることはあります。ティモールの人達ではなく、資金の支援団体の方を向いて活動しているように感じる事がしばしばあったりします。

←逆に達成感のある活動ってありますか？

1年通して最初から最後まで関わった事業は達成感がありますよね。

今やっている事業は、すごくおもしろくなりそうですねですよ。民主主義促進事業なんですけどね。

国のシステムって、なんとなく知ってるけど、実際にそれぞれの機関が具体的に何をしているかとか、どういう風に相互作用しているかって、多くのティモール人が理解できてなくて。まあ、日本でも同じかもしれないですけど。それって、ティモールに人に必要な知識でしょうし、自分たちの国がどういう風に形成されてて、その中でどうすれば参加できるのか考えることはすごく重要だと思います。

ティモールで起きる暴力って、日頃の不満、不平、仕事がないとか、そういうのを発散する一つの方法と



～暴力ではなく民主主義国家の市民としての主張を～

して起きてる面も多くあると思うんですね。コモロでよく起きる若者の抗争って、それだけが理由って言うと単純化しすぎですけど、そのひとつの好例じゃないかと思います。

だから、少しでも民主主義国家の市民として、どういう風に自分の不満・意見を主張できるかっていうのを知るのは、暴力の代替手段として、不可欠だと[^]

思うんです。それを通して、国の政策に影響を与えることもできるかもしれないですからね。

トレーニングの後に、実際そうした政治参加をしてくれば更に嬉しいですね。まだ始まってないですけど、トレーニング前後の理解・意識の変化がすごく気になってます。

(KWNS)

ミニコーナー【みんな大好きテトゥン語】

隊員の皆さんに「好きなテトゥン語」をきいてみました。出てきたのはどれも一日一回は使う言葉ばかり。

Diak ka lae?	元気かい？調子どうよ？
Husi ne'ebe?	どっから来たん？／どこのもんじゃ？
Seidauk	まだやってない（これからやるという意味を含む）
Neneik	ゆっくり
Naran deit	どっちでもいいよ／なんでもいいよ
Ne'e ga? Ne'e sa!	「そうなの？」 「そうだよ！」

うう～ん。何となくこの6つのフレーズを見てるとティモールののんびりした雰囲気が感じられるのでは！？

Omi先生の面白テトゥン語のコーナー - naran deit -

隊員の好きなテトゥン語にも挙がったこの言葉。

naranは名前、deitは英語のjustにあたる言葉なのに、なんでもいいよの意味になっています。名前だけで、特に気にしないよというティモール気質の表れかもしれませんね。



阿久津 寛美

平成23年度2次隊

平成23年9月に青少年活動で赴任。NGOバフトゥル三人衆の一人。チアダンスというバックグラウンドと演劇という要請のギャップを埋め、現在はティモール各地を飛び回り、アクティブに活動をしている。



—阿久津さんから見た配属先の雰囲気を見せてください。

バフトゥルの場所ですが、空港から車で3分位のセロジャという所で、富裕層がいるような地区ではなく、子供も地元の子といった感じの子ばかりです。

スタッフは多少のレベルの差こそありますが、どの人も英語の能力は高く、仕事への勤勉さを見習うところがありますね。私の持っていた途上国というイメージとは遠く、みんな真面目でよく働くスタッフですね。[✓]

—配属先では英語を使っているんですか？

テトゥン語…全然テトゥン語だよ(笑)
インターナショナルの会議や、外部からのお客さんが来た時は英語ですが、普段は俄然テトゥン語を使っています。ですが、振り返れば短期ですが、英語の学校にも行かせてもらってました。そして、テトゥン語を覚えていくのに比例して、訓練所で学んだインドネシア語はほぼ使わなくなりましたね。

—現在の活動内容を教えてください。

普通の日には、配属先に行き、メールのチェック、その後同僚と予定の確認をします。

その後は、日によりけりですけど、月曜日のドラマのクラスと水曜日の日本語のクラスあります。それ以外は午後にキッズアクティビティをやっています。

ポルトガル人の先生がボランティアで来てくれるので、その先生と一緒にクラフトだったり、絵を描いたり、歌ったり、いす取りゲームをやったりしています。[✓]

隊員活動紹介 - DRAMA! DRAMA! DRAMA! - 阿久津寛美

—印象に残っている活動を教えてください。

活動は配属先が受けているプロジェクト次第なので、去年の方が忙しかったです。というのも、就学就職していない若者に向けての5ヶ月集中プログラムが2回あったので、生徒が朝来たら英語のクラスを受けている間に、クラスの準備をして、午後はみっちりドラマクラスのファシリテーターでした。

1週間毎日生徒につきっきりになるので、生徒もどんどん上手になっていって、この国でこの国の人のために活動してるなーと思いました。最後に生徒のコミュニティーに出向いて発表をしたんですが、成長した姿に感動させられてばかりでした。

TTと云えば？という質問にこの国では大抵の人が電話会社のティモールテレコムというと思いますが、クラス内では「ティモールタイム」です。やっぱり時間が守れないです。ですが、繰り返しているうちに少しずつ改善されます。

—どういったドラマをどのように作られていますか？

通常のクラスとプロフェッショナルのチームと二通りあります。

通常のクラスはティモールの問題はどんなものがあるのかをこちらから質問を投げかけて、生徒達から挙がったものをストーリー化していきます。対象は18~26才位でした。その方法は、文章に起こしたり音楽にのせてみたりと色々です。

問題として挙がってくるのは、地域の抗争、家庭内暴力、虐待やゴミ問題などが多いですね。[✓]

生徒が体験談をもとに、人物の配役を生徒の中から選んで、状況ごとに体を動かしながら演じてみて、みんなで話し合いながらまとめて行くといったスタイルです。

すべて実話なので、家族からぶたれている子が、それを思い出しながら話すので、泣き出す子もいます。独立の時の話をする子は目の前で殺された家族の話をして。クラスを通して、ティモールの実情を知ると同時に、私はやっぱり日本人で平和ボケというかみんなとは違うんだと思わされています。

もうひとつのプロフェッショナルチームは他団体から依頼が来てそれに沿った脚本をこちらで組んで、オーディションをして配役を決め、公演をします。例えば栄養の演劇は「1日5色の食物をとろう！」をスローガンにして歌と踊りを作ってお客さんに覚えてもらえるよう工夫をしました。





他には、4月と7月にあった大統領選挙と議会選挙に向けて「選挙に行こう!」という演劇を作りました。それは編集してもらって、DVDにもなったし、国営放送にも流されました。今は「フェト・ファンタスティカ」という名前のちょっとしたヒーローものやっています。[✓]

-公演はどこでやるんですか？

依頼先のドナー次第ですが、大学や市場等とにかく人の集まる場所です。田舎のほうに行くと演劇よりも大変なことがたくさんあり、冒険というか、すごく楽しいですね。道はないし、トイレはないし、水はないし。

水が貴重な地域は、バケツ一杯でどうやって頭から全身を洗うか神経を集中します。最初は泡を落とさきれなかったんですがもう今は上手にやれます(笑)

-困ったことはありますか？

最初のうちはすぐ彼女になってくれとか、結婚してくれとかそういう話が多かった気がします。やっぱりティモール人からすると日本人ってだけでバリューがあったみたいです。最初のうちはテトゥン語も話せないから、相手にいいように言われっぱなしで。もう今は負けられないけど!!

-うれしかったことで印象に残っているものは？

ジョークや流行言葉が共有できるようになって来ると、ティモールの女だねって言われて馴染んだ[✓]

～ 演劇を通して生徒達の将来の選択肢を～

な一と思いました。あと、呼び方がマナ(女性敬称)からビーン(お姉さん)やティア(叔母)って呼ばれると、家族の一員と認識してくれているようで、信頼されてるなって思います。

でもその分、頼まれごとが多くて、お金を貸してくれとか、その服下さいなんて言われる事もあります(汗)

-今後の活動について教えてください。

ソーラーパネルに関する演劇が始まるうとして、電気の引かれていない土地にも明かりが灯ることを期待して取り組んでいます。

他には、フェト・ファンタスティカが映画館で上映される予定だとか、地方にロードショーに行く予定があるので、その下準備をしたりお陰様で忙しいです。

-最後に今までの活動を振り返られてどう感じますか？

同僚にオーストラリア人がいるんですが、彼女がいなかったら私は演劇やってなかったかな…。彼女は本当に采配が上手で、例えば私のバックグラウンドがダンスだから、今回の演劇はダンスを取り入れて、「その部分はあなたの担当ね」だとか、私が裁縫得意だから衣装の担当をまかされたりだとか。一人じゃなかったからここまでこれたと思います。[✓]

任地に来る前は、この国の人のために全力で頑張るぞ!って意気込んできたけれど、その成果はまだよくわかりません。今後は、ドラマが映像化されたものをより多くの人に観てもらって、現実の世界ではそこまでうまく行かなくても、こうゆう方法があるんだって思ってもらったり、関わった生徒たちの将来の選択肢を少しでも増やす事ができたなら私の活動は成功のかな…って思います。



(KWNS)



Omi先生の面白テトゥン語のコーナー - mata dalam -

mataは目、dalamは道を意味し、道の案内役を指す言葉となっています。初めて行く山には、必ずその土地のマタダランを雇いましょう!

-活動を始めた頃と現在でNGOバフトゥルの変化はありましたか？

ティモールの状況に合わせてプロジェクトの方向性は変わってきていると思います。対象年齢が若いプロジェクトが多くなってきていますね。

-カウンターパートはどんな方ですか？

私の最初のカウンターパートはすごく忙しくて色々なプロジェクトで引っ張りだこの人だったので、一定の所にいなかったんですね。なので、最初はカウンターパートはほぼいないような状態でした。

そのため、最初の半年は担当した写真のクラスを一人でやっていました。その後はずっとアトーという人と一緒に活動をしています。彼は元々バフトゥルのセキュリティをしていたんですが、それが私の写真クラスの生徒になって写真を勉強して、今はスタッフをしています。彼は素直ですごく真面目な方だったので、「アトーと一緒に活動したい」と言ったんです。彼は今25才くらいですね。[✓]



矢加部 咲

平成23年度1次隊

職種：写真で東ティモールに平成23年6月に赴任。NGOバフトゥル三人衆の一人。芸術家としてのセンスを活かした活動で、ティモール人との深い信頼関係を築き、現在は多方面で活躍している。

-授業ではどういった事を教えていらっしゃいますか？

東ティモールの人達はカメラは高価で買えないからあまり触る機会がないんです。だから、カメラの電源の入れ方や構え方から始めて、写真の撮り方、パソコンの編集方法を教えたりしています。

「まっすぐ構えてみよう」とか「もうちょっと近づいた方が見えるよね?」とか基本的なことをアド[✓]

隊員活動紹介 ファインダーが捉える心 矢加部 咲



バイスしつつ、自由に撮ってくれるといいなと思っています。

その後、うまくなる人もいるし、そうじゃない人もいるし、そこは日本人と同じですね。

-1日の活動の流れを教えてください。

私は大体9~18時位まで活動しています。クラスを持っている時はその準備や打ち合わせをしています。今年からセンターの中でコーディネーターの役割をしています。あとはバフトゥルの映像関係の編集や広報関係の担当もしています。[✓]

阿久津さんの担当するドラマの活動を手伝う事もあって、同じプロジェクトをしているときはドラマチームの作ったドラマの映像を作る事もあります。

今まで映像関係の編集は少ししかやった事がなくて、こちらに来てから本格的に映像関係の編集を沢山やるようになりました。今はもう慣れましたね。

去年一年間のクラスで生徒に教える方の活動が個人的にはすごく楽しかったです。写真のクラスについてはアトーが続けてくれれば嬉しいです。まあ、バフトゥルのプロジェクト次第というところもあるんですけど。

-活動当初のクラスの印象はどうでしたか？

最初はカメラの機材の管理が全然できてなくて、すごくストレスがあったんですね。担当者に細かく何度も言って、張り紙も作ったりして、うるさい日本人だと思われていたと思います。でもその甲斐あって、今のカメラの管理体制はすごくきちんとしています。

言にくいことを言うときは、基本的には怒るというよりは、1から10まで説明する感じですね。諭すというか。生徒も含めて、ティモールの人は基本的にナイーブだから、怒ると離れていっちゃうんです。

バフトゥルのクラス選択制の特徴がでるんだけど、目立ちたい明るい感じの子はドラマのを選択して、絵を描くのが好きな子はアートのクラスにいくんですね。そのどっちでもない子達がメディアのクラスに来るんです。年齢は25才くらいで、下の方でも20才くらいだから年齢層は高めですね。



最初はみんな不良みたいな感じで無愛想で、挨拶しても返事はなくて本当に日本のヤンキーみたいな感じの子もいました。むかしは色々悪いことをしていた生徒もいたみたいです。

でも、みんな大分変わりました。ちゃんと挨拶したり、笑顔を見せるようになりました。もともとは繊細で純粋な子達なんです。以前、一人授業に来なくなってしまった生徒がいたんです。でも、自宅まで様子を見に行き、話をし、また授業に戻って来てくれた時はすごく嬉しかったですね。その生徒は結局最後まで授業に参加してくれました。[✓]

その生徒は最後の舞台でお母さんに挨拶したときに謝って泣いてました。「今までごめん」って。本当に一途で純粋なんですね。卒業式でもみんな泣いちゃって、机の下に隠れて教室から出てこなくなっちゃたんですよ。

私の活動が生徒達の人生にどのような影響があるかは未知数ですけど、少なくとも何かひとつのものをみんなで作上げたという思い出はあげられたんじゃないかと思っています。最後にはアマー（お母さん）って呼ばれてました。

～生徒とのエピソードがあれば教えてください。

クラスでは基本的に外に自由に写真撮りに行くんですけど、家に帰ってお昼ご飯食べて来たりした生徒もいました。その後に撮った写真をみんなで評価するんですけど、ご飯食べてるところを発表するんですよ。バレバレなんです。もう笑うしかないです。

みんな年齢は20代中頃なんですけど、中身は高校生みたいなんです。イメージ的にはマイナス10才位？でも、みんな可愛いんですよ。最後には私が荷物 [✓]

～最後には「お母さん」って呼ばれてました～

運んでいると、やって来て荷物を取り上げて「アマー（お母さん）は働いちゃだめ、座ってて」って。年はそんなに変わらないんですが（笑）

山に登ったときは、ちょっとした段差でもサッと手を出して助けてくれます。上で待っていてくれて引き上げてくれるんです。火もあつという間におこせるし、穴も掘れる。サバイバル力では日本男子はかなわないかも。

～矢加部さんは海で遭難したと伺ったんですが？

去年の8月くらいですね。アタウロ島の裏側にすごい綺麗なビーチがあって日本人の方達と一緒に現地の船頭さんを雇って船2艘で行ったんです。

夕方4時位にそこから引き返したんですけど、1槽の船のエンジンが止まっちゃったんですね。壊れたほうの船をロープで繋いで近場の漁村まで行って、大丈夫なほうの船は沖で修理が終わるのを待ってたんですが、日も落ちてきちゃって。

私達の船は先に行くことになったんですけど、時既に遅し。真っ暗で波もひどくって、結局夜の9時位まで海を彷徨って。最終的に岸の近くに着いたんで [✓]

すけど、今度は船が入れる所が分かんなくなっちゃって珊瑚礁で座礁しちゃったんですね。

そのときは、船頭さんが船を下りて大きな波が来て船が大破する前に一生懸命海に戻してくれました。最終的には無事だったので笑い話で済んだんですけど、寒さに震えながら見た星空と夜光虫の光はちょっと忘れられないですね。あきれるくらい綺麗でした。笑



(KWNS)

Omi先生の面白テトウン語のコーナー - fase matan -



- ① faseは洗う、matanは目の意味からウィンドウショッピングや通って行く人や車をぼんやりみてる時に使う言葉。日本語でいう目の保養。
- ② ふざけている時や、嘘をついた時に第三者からちゃんとして！という意味で使われる言葉。エイブリーールフルの後、よく聞きますね。
- ③ 生後2週間ほどの赤ちゃんの目を水で洗う儀式



みんな定刻通りに職場に来なくて、赴任当初はイライラすることもありました。その習慣は現在も変わらないですけど、僕自身は落ち着いて活動する事が出来ています。

でも配属先は役所なので、違う省の人達のところに訪問する時はやっぱり一緒に行く必要があるから、その時は「やっぱりあなたが必要なんだ」って引っ張り出しています。

配属先で働いているティモールの人達、特に一般職員の人達はどこに行くにもガソリン代が支給されません。電話代ももちろん自腹で払っています。農水省自体は予算が他の省と比べても、すごく少ないので働くには非常に厳しい職場ではありますね。

—配属先の農業水産省アグリビジネス局の雰囲気教えて下さい。

雰囲気は出勤日でも社員が来たり来なかったりしてのんびりしています。通常は7時半から3時半が勤務時間で、昼休みは30分の予定なのですが、10時頃に出社したり、昼ご飯を食べに行ったら戻って来なかったりする時もあります。[ノ]

—最初は配属先がなかったと伺いましたが？

要請内容と実際の配属先は大きく違っていました。元々の要請内容は一村一品タスクフォースっていう配属先の予定だったんですけど、実際に行ったら配属先がなかったんですね。

でも、事前に専門家の人にはうまく行ってない[ノ]

隊員活動紹介 一村“逸”品運動を通して 鈴木哲史

と聞いていたから、まあ、やっぱりか・・・みたいな感じからスタートしました。

—業務内容はこういった内容ですか？

今はティモールの空港に新しくお店を開店したので、ほぼ毎日お店を見にいった改善点を提案したり、まだ少し予算が必要なのでJICA事務所と相談して予算申請をしたり、後はNGOからアグリビジネス局に話を繋いで欲しいとの依頼も来るので、その仲介をしたりしています。

お店では食品と工芸品の二つのカテゴリーを扱っていて、食品の方は、コーヒー、塩、お茶、バナナチップ、ココナッツオイルを扱っています。

工芸品はタイス（ティモールの伝統織物）を使った小物もあれば、アタウロ産の独特な刺繍をほどこ[ノ]

したバッグなどもあります。アタウロバッグはすごく綺麗でお勧めです。

それらの品物は東ティモールに住んでいる人は知ってるんだけど、ティモール市内では販売しているお店を見かけません。いい商品なんですけど、地方に行かないと買えない品物が多くあります。



独立後、様々な支援団体がこれらの生産者を支援して、良い品物を生産するようになってきました。ただ、生産者自身で販売を継続拡大して行くことは難しく、今後の活動が危ぶまれます。せっかく育ててきたそういう良い品物も、売る先がなければ今後潰れてしまうかもしれません。今まで市場で品物を売るためにマーケットを作るといった活動がなかったので、今回お店を実際に作ってみました。



ちなみに5月31日に農業水産省大臣や、花田駐東ティモール日本大使をお招きして、オープニングセレモニーを催す予定です。

これまでのご自分の活動を総括して頂けますか？

ティモールの魅力ある生産物を市場に繋げることを第一に考えて活動してきました。

農業水産省や支援団体は主に生産サイドの支援を行ってきて、それらの活動は確実に成果を上げ[∨]



鈴木 哲史

平成23年度1次隊

平成23年6月に村落開発普及員として赴任。一村一品運動で平日休日問わず地方を飛び回るといふミクロな視点と、ティモール全体の市場を眺めるマクロな視点で忙しく活動している。



[∨]ていますが、生産物を市場につなげる支援がまだ行きとどいていない状態です。農家が勤勉でないことが原因の一つに挙げられますが、彼らの立場に立って考えると、作っても売れない仕事はしないということなのです。当たり前の話ですが、無駄になることはしない。全く怠けていない訳でもないけど、見方を変えれば賢く効率よくやっているのです。

～ティモールの魅力ある商品を市場に～

インドネシア統治時代は地方にも役人を始めインドネシア人がたくさん生活しており、首都だけではなく地方でも農産物を販売する市場は現在より大きかったようです。

また、政府が米を買い取り、それを手当として役人に配給していたようで、米の販売量も現在より安定していたようです。独立後も買い取りは行っていますが上手く機能しておらず、農家の生産量を上げるインセンティブに繋がっていません。来たときにそれがすごく欠落してると思いました。「作れっというの簡単だけど、どこに売るんだ」って。

あと半年でやっていきたい活動は、空港のショップがJICAの支援が終了した後も、経営が持続し、民間の力で生産者と市場のかけ橋になることが出来るようにしたいと考えています。

お客さんに喜んでもらえる商品を提供することで、店が成り立ち、そして生産者の販売量も増加して継続的なものになる。当たり前の話だけど開発業界ではその当たり前のことを実現するのが、すごく難し[∧]

[∨]いことだなんて感じています。だからこそチャレンジしたいですし、後任の隊員の方にも良い形で活動を引き継げたらと思っています。



(KWNS)



Omi 先生の面白テトウン語のコーナー - lakeru Japan -

lakeruはウリやカボチャ、Japanはそのままだ日本のこと。

外側も内側も白っぽいカボチャを指す。

日本から来たからだ！というけれど、日本のカボチャはカンボジアから来たとも言うし...

ベモ - 乗りこなせ BEMOO

～マイクロレット虎の巻～

ティモールのメインロードを歩いているとひとときわ
異彩を放つ軽自動車があります。手塗りの車体に数々
のステッカーでデコレートされた窓。入り口からはみ
出した男達。

この乗り物・・・その名もマイクロレット！

そして協力隊員が赴任直後に事務所で聞かされます。

「移動はタクシーかマイクロレットで…」そうです。この
マイクロレットこそが隊員の足、庶民の公共交通機関なの
です。そんなマイクロレットを100倍楽しむための5つの
鉄則をご紹介します！！



其の壱～乗り込む前には番号チェック～

>どのマイクロレットがどこに行くの！？

ディリ市内を走るマイクロレットは10種類の路線に
分かれています。その路線ごとに車体の前と後には必
ず1～10の番号が書かれています。そして番号ごとに
車体の色も塗り分けられています。3番なら緑とか。
行き先にあわせてどの路線に乗るのかを決めないとい
けません。

とはいえ、最初は路線なんて頭に入ってませんの
で、JICA事務所の秘宝『マイクロレット路線図』があ
るので、これを貰ってチェック！現地の人にはどの番号
がどこに行くのが知ってるので、現地の人に行きたい
場所を言って教えてもらってもいいでしょう。また、
乗車率の違いからなのか沢山走ってる番号とあまり見
かけない番号があります。10番が一番多いような気
がします。

其の貳～乗りたい時は人差し指～

さあ！乗る番号が決まったアナタ。ではどこから乗
れば良いのでしょうか？残念ながら秘宝『マイクロレット
路線図』には停留所が載っていません。Don't worry!
答えは簡単。どこからでも良いのです！道行くミク
ロレットに向かって道端で乗りたそうな顔をしながらさ
りげなく人差し指を立てるだけ。マイクロレットは
「OK!」と言わんばかりにヘッドライトをチカリ！と
光らせアナタの前に止まってくれます。さりげなく人
差し指を立てるところが粋ポイント①です！

其の参～握り締めろ25セント～

>途上国の乗り物って値段交渉が面倒って聞いたけ
ど…ぼったくられたりしないのかな…

大丈夫！マイクロレットは庶民の乗り物。どこまで
乗っても最大25セントです！タクシーが大体2ドル
ですから。なんとも庶民的なお値段です。まして、近
場なら20セントや15セントで行けちゃいます。入り
口にぶら下がる「立ち乗り」だと基本5セント引きく
らいになります。

ちなみにこの「立ち乗り」は男性のみです。経験者
によると結構力が要るんだとか。車の外にはみ出てた
ら遠心力がかかりますもんね。逆に言えば、女性は必ず
車内に座ります。「立ち乗り」ポイントが空いてい
て、中の座席が満席だったりすると、さりげなく席を
女性に譲って立ち乗りする男達もいます。ココ粋ポイ
ント②です！

料金の話しから逸れましたが脱線ついでに…「立ち
乗り」が男性の特権なら「膝乗り」は女性の特権で
す。満席になった車内に更に乗り込んできたときは、
なんと！女性は既に座っている他の女性の膝の上に
座っちゃいます！友達同士はもちろん、知らない女性
同士でも座ってます。うう～ん、仲良しティモール♪
ここまでくるとふと最大何人乗れるの！？と思った
ことでしょう。マイクロレットマスターのワタクシの経
験では運転手併せて27人くらい乗ってたことがあります。
こうなるともう狭い暑い臭いを通り越して笑え
てきますよ！

車内は爆音ミュージック！

車内は爆音で音楽が流れています。大体はテトゥン語／インドネシア語／英語の音楽。いけてる音楽が流れ出すと一人で口ずさむティモール人もいますよ。

デコの基本はサッカー選手とセクシー系

車体や窓をデコレーションするのはBEMOOの基本。特に多いのはこの国の国民的スポーツであるサッカー選手の写真。次によく見るのはセクシー系写真。キレーなインドネシア(?)のオネーサンが微笑んでいます。更に珍しいのでは、こんな写真(右)も編集部に掲載されてきました。題して「ココまで来たか日本のアニメ！」



閉店ガラガラ

夕方6時頃になるとお客さんが少なくなってきます。お客が少なくなると、運転手さんやる気なくなっちゃいます。そして手頃なところで「今日はココまで」と、お客さんは全員強制下車。活動で遅くなった日に、家に着く前に下ろされてしまうなんてことは隊員にはよくあるとか??

>乗ったは良いけど、降りるときは…

その為に25セントを握り締めてるんです！「どこからでも乗れる」マイクロレットは「どこでも降りられる」マイクロレットなのです。降りたくなったポイントで車内の手すりなどの金属部を25セント硬貨でカンカンッと叩きつければいいだけです。他にも口でポンッと音を鳴らして知らせる方法もあります。あ、立ち乗り組は屋根をバコバコ叩きます(笑)

其の四～特等席に挑戦～

ここまでくればマイクロレット中級レベル。更に上級者を目指すアナタは特等席にチャレンジしてみましよう。それは何と言っても助手席。眺めはいいし、涼しい一般座席より快適です。助手席が空いていたら果敢にチャレンジしてみましよう。運転手が「どっから来たんだい？」と話しかけてきて友達になれるかも!?

ただし…助手席に一人で座っている時はとても快適ですが、そこはマイクロレット。助手席は「二人用」の席なんです。狭い助手席に二人座ったら快適度ダウンなので、あしからず。

其の五～HO BEMOO～

ティモール人は「どこ行くの?」「なにで行くの?」とよく訊いてきます。そんなとき「マイクロレットで」なんて答えちゃダメです!マイクロレットの粋な別名『べも～』というのがこちらの通称。

"Ho Bemoo!" (With Bemoo)

と答えましよう。きっと「お～ティモール人みたいだね!」と喜んでくれるはず!ココ最後の粋ポイントです!

べも～は愉快的な乗り物。是非ご乗車ください!ココでは紹介されなかったべも～の習慣は是非乗りこなしで発見してみましよう!人間以外の珍客にも出会えるかも!?コケッコ～♪

(HIRSW)

探求 - 派遣期間とBemoo使用の相関

隊員にマイクロレット使用頻度を聞きました。
 ティモール歴1年以上の隊員：月0～3回
 ティモール歴1年未満の隊員：ほぼ毎日
 こんなに違うもんですか!?!長いこといると友達に送ってもらったりと色んな人脈を利用しだす様です。
 中には1回しか乗ったことないという強者も…

モーっ(怒)
 ギューギュー



トラックも乗車率100%

ディリ中心部からスタート！

30分



ティモールと言えばここ！
世界で2番目に大きいキリスト像

クリストレイ 【所要時間 約1時間】

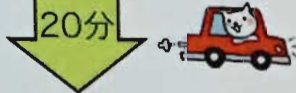


ふもとは白浜で絶好の海水浴スポット♪外国人もたくさん

※階段は舗装されているが、日本人はスニーカー、サンダルでも足をしっかり包むタイプが無難



20分



生鮮食品なんでもござれ！
最大級ローカルマーケット

ハリ ララン 【所要時間 45分】

魚・野菜・肉・お酒・お米・穀類・燃料・にわとり・
ブタ・セカンドハンド衣類・日用品など
何でも売ってる◎

※青空市場のため、雨の日はさけて
駐車スペースがないため車は近くに止めて歩いて入る



5分



鮮やかに彩られたカトリック式の
墓地で独立の歴史に触れる

サンタクルーズ墓地 【所要時間 20分】

差が歴然！隣の区画インドネシア人墓地



※反日感情のあるティモール人も
いるので墓参している人には近づ
かないで





タイスマーケット 【所要時間 30分】



おみやげの定番！タイス小物！
多彩な柄や色からお気に入りを探して

※土日も営業、値段の記載はないので
テトゥン語のできる人と一緒に。



もっと見たい知りたい1

ジョンパウロ像 【所要時間 1時間】



※時間を合わせて行けば飛行機の離発着が間近に。

タシトルのはずれ。
市内一望と水平線の絶景パノラマ

もっと見たい知りたい2

アローラファンデーション 【所要時間 30分】



もっともお土産のほしい人はココ！

シャナナ首相の奥様が設立
デザイン良し、品質良しのタイス商品たくさん

もっと見たい知りたい3

セロジャのパン屋
修道会経営のベーカリーショップ



素朴なパンのほかに地元っ子にも人気のあま〜いお菓子多数（中での飲食も可能）

もっと見たい知りたい4

空港ショップ フシネベ〜？ 【所要時間15分】



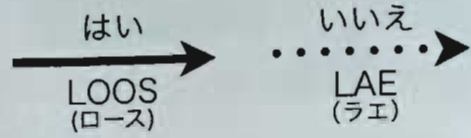
商品紹介のビデオにティモールが凝縮！

鈴木隊員が店長を務める
ローカル商品の宝庫

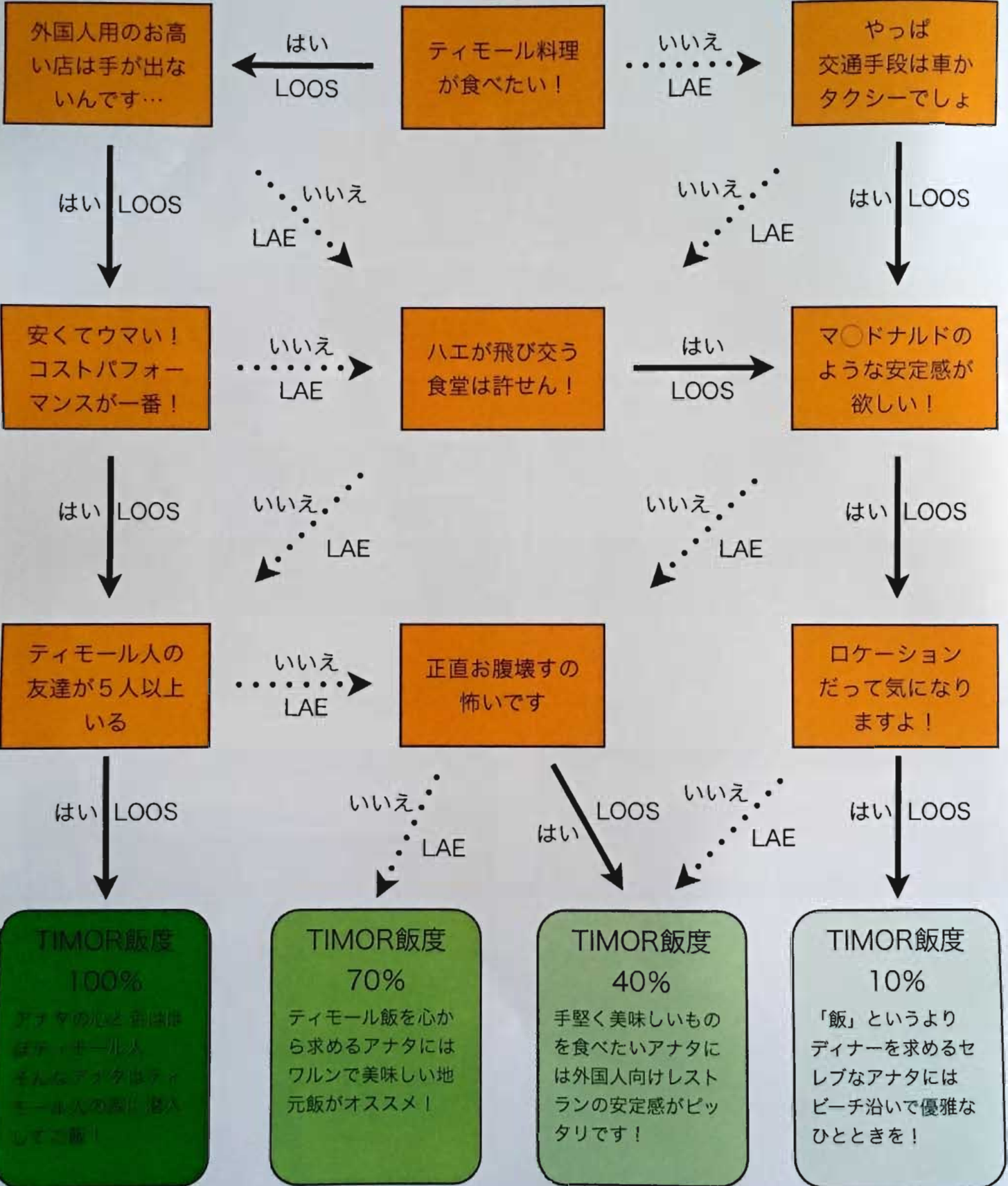
(AKT)

ぐるなび @TIMOR

あなたにピッタリのティモール飯を診断します！



START!!!



高

TIMOR飯度100%のアナタにオススメ!



残念なことにこれぞ東ティモール料理というようなものではなく、東ティモール料理専門店もありません。でも大丈夫。ティモール人と仲良くなればきっと家に招待してくれて、ティモール料理を振る舞ってくれることでしょう。何かのパーティーだとイ〇の肉が出てくることも!?



TIMOR飯度70%のアナタにオススメ!



ワルンで野菜も沢山食べましょう! \$2.5

手軽に庶民の味を楽しみたい時にはワルンというインドネシア系のレストランに行きましょう。相場は\$1.5~\$3で大皿に盛られた肉や野菜の中で食べたいものを指差して小皿に盛ってもらうピュッフェ形式のお店です。特に通称「贅沢ワルン」と呼ばれる(?)ところなら\$2.5~で美味しいご飯が! 贅沢ワルンがどこにあるのかはティモール人やティモール歴の長い人から情報収集を!



オススメ贅沢ワルン
サテカンビン
(ヤギ肉の焼き鳥) \$2.5

T
I
M
O
R
飯
度

TIMOR飯度40%のアナタにオススメ!



ワルンで冒険してご飯を食べるのにちょっと尻込みしてしまうアナタには、外国人向けのレストランで美味しいご飯がいいでしょう。\$5~でジューシーなハンバーガーが食べられます。大人数のときはピザやパスタをみんなでも注文してもいいですね。



インドカレー(野菜) \$6

TIMOR飯度10%のアナタにオススメ!



お腹が一杯になるだけじゃなくて、素敵で場所でお腹も満たされたいというアナタには海岸沿いのレストランがオススメです。ティモールの美しい海を眺めながら美味しいご飯とビールを楽しみましょう。デートスポットに最適ですが、車が無いと辛いところ。値段もロケーションも隊員には手も足も届かない場所です。

食前食後にそのまま海水浴も楽しめるレストラン
BLACK ROCK (リキサ県)

低

☆とある学生の一日子☆

ティモール人大学生お二人に一日の生活から最近のマイブームまで突撃インタビューしてみました！

Jerónimo do Rego Towaresさん (22才)

ニックネーム：Anuku (アヌク)

東ティモール国立大学

Universidade Nasional
Timor Lorosa'e (UNTL)



—お住まいは？

ビダウサンタナに住んでいます。海に近く、漁業で生計を立てている人が多い地域です。また、同年代の友達も多く、ミュージックバンドを作りテレビに出演したこともあります。その時は、時間をみつけては仲間同士、毎日集まって歌とギターの特訓でした。

—最近のマイブームを教えてください。

大学で専攻しているコンピューターサイエンスの勉強が好きです。今の生活は半分大学生、半分ソフトウェアの指導の仕事をしています。地域の若い子たちにインターネットの使い方を教えたり、彼らが打ち込んだ文章を見やすく直して印刷したりしています。仕事をしながらコンピューターの勉強出来るところにメリットを感じています。

—東ティモールでお勧めのスポットを教えてください。

週末の時間のあるときは、ラルゴテレシテレがお勧めです。クリストレイも彼女と行くにはお勧めです(照)

—休日は何をされていますか？

クリスマスなどの長い休みがあるときは、アイレウにある母の実家へ遊びに行きます。時間がゆっくりと過ぎて、静かでリラックスできます。

—東ティモールの好きな食べ物は何か？

魚はよく食べます。パタール・ダーン(コーンを煮込んだもの)、ラバラバ(季節の野菜炒め)やブドゥタシ(海藻を辛くしたもの)が好きです。ブドゥタシは50セントでいっぱい食べられます。

あとは果物が好きです。市場では果物がたくさん手に入りますよ。特にマンゴーが大好きです。マンゴーを熟して甘くなってから食べる人もいますが、僕らの食べ方は実がまだ固く酸っぱいときに、唐辛子をつけて辛くして食べるのが一般的でおいしいです。

—将来の夢は何か？

まだ勉強を続けたいので大学でマスターの資格を取ろうと考えています。そのために仕事をして自分でお金を貯めています。忙しく大変ですが(苦笑)もっと先のことが、仲間と音楽のイベントを開催したいです。沢山練習して、うまくなりたいたいです。

そしてずっと先のことが、ビダウサンタナのコミュニティのリーダーになりたいです。家族や国のために自分のできることをしていきたいんです。

Joana Cristina Rodriguesさん (20才)

ニックネーム：Noi (ノイ)



パズ大学

Universidade da Paz

—休日は何をしていますか？

大学が休みになる時期はアタウロ島に行き散歩するのが大好きです。アタウロはディリ市内から北側に見えて近いようですが、意外と遠いんですね。ナクロマというフェリーに乗って3時間かかります。チケットは4ドルから。エアコンのあるところはもうちょっと高いみたいです。フェリーで気持ち悪くなっちゃう人もいますが私はへっちゃらです。

—最近のマイブームを教えてください。

ケーキ作りです。クリスマスや兄弟の誕生日にケーキを作っています。長女なので、やはり兄弟の面倒を見るのが家の仕事です。

その他には、オブラランに行って買い物します。

—オブラランとは何ですか？

いわゆるセカンドハンドショップです。アジアから輸入されている古着で、靴でも鞆でもカーテンでもなんでも手ごるな価格で売っています。私が見つかる服は1~5ドルくらいです。輸入したてのものほど高く、時間がたつほど値段が下がります。日本の服もよく輸入されていると聞いたことがありますよ。古着でも新品と同じくらいきれいなものもありますし、友達と行って、その中から掘り出し物を見つけるのが楽しいです。

—将来どのようにしたいと考えていますか？

将来は現在大学で勉強している経済分野をいかして、銀行で働きたいと思っています。場所はティモールでも、インドネシアでもいいかなって考えています。オーストラリアも近いけどちょっと難しいです(苦笑)英語よりかはインドネシア語のほうが使い慣れているので。

—東ティモールでお勧めのスポットを教えてください。

前はパラシオグベルノ(首相府)が好きでした。こちらは、広い敷地にキレイに木が植えられていて、マラソン大会など、大きなイベントはそこが本部ですよ。

今はラルゴテレシテレが好きです。海沿いの新しい公園です。一応Wi-Fiが飛んでいますが、人が多いせいか繋がりにくいんですが、でも、行けば友達にたくさん会えるので週末はよく行きます。

—誰と行くんですか？

!!!!!!! (赤面&照れ笑)

アヌクさんの一日



ネットカフェ、写真編集
コピー、プリント
が主な業務

ティモール人は
音楽が大好き！

ビックリ

国立と私立 学費の差！

東ティモール 国立大学	\$30/年
私立バズ大学	\$200/年

起床 シャワー
お祈り
朝食
バスで大学へ
授業開始

授業終了
大学から戻る
仕事
仕事をしながら勉強

子どもに道德の授業
道德の授業終了

職場を出る
ギターと歌の練習
帰宅
夕飯
就寝

6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
16:00
18:00
20:00
22:00

ノイさんの一日

起床 シャワー
朝食後
授業開始

授業終了
家に帰る
昼食
休憩
掃除などの家事手伝い

夕飯の準備
シャワー
お祈り
夕飯
勉強
就寝

ノイさんは5人兄弟
7人家族の長女！

ティモールは
カトリックが大多数



アヌクさん、ノイさんオススメ
ラルゴアレシデレ↑
青い屋根の下でパソコンを
持った若者が集う憩いの場↓



インタビュー1番手は、静かな口調の中に将来を見据えた力強い意志が感じられるアヌクさん。またその一方で、音楽や彼女の話になればティモールの若者らしい照れた笑顔が印象的でした。独立の混乱の中、勉強したくとも勉強できなかった家族の姿を見て、自分にできることを最大限にやろうという姿勢に脱帽。将来がなんとも楽しみな青年の一人です。

そして2番手ノイさん。兄弟の面倒をみるしっかり者のお姉さんから、ファッションや恋愛が楽しくてたまらない女子大生の一面まで、いろんな表情を見せてくれました。

独立までの苦しい時代が見え隠れする社会情勢を吹き飛ばす、快活な若い世代の日々を垣間見たような気がします。

忙しい中、インタビューを引き受けてくれてオブリガード バラック！！！！

(KWNS)



Omi 先生の面白テトワン語のコーナー - kabun dulas -

kabunはお腹、dulasはまわるの意味から、腹痛を指す言葉になっています。赴任当初は誰もが通る道でしょうか？

東ティモールの青年海外協力隊の歴史は浅くまだ3年程です。

2010年に初の協力隊員が短期で2名赴任しました。続いて2名の短期隊員の赴任を経て、2012年7月には初の長期隊員3名が赴任するに至りました。さらに、3名の隊員が赴任し、現在では長期隊員6名が活動中です。

(短期長期を含め現在までに10名)

そんな東ティモール協力隊史の幕開けを担った3名の方々に当時の活躍ぶりをお話しして頂きました。

2010年4月	短期隊員2名(隊員派遣開始)
2010年10月	短期隊員1名
2011年1月	短期隊員1名
2012年6月	長期隊員3名(長期派遣開始)
2012年9月	長期隊員1名
2013年1月	長期隊員1名
2013年3月	長期隊員1名

あの人は今！？ 協力隊を経て大学院、 そして外務省へ

ふじなが れいこ

藤長 礼子 さん (2010年4月～10月)

東ティモール初代青年海外協力隊員(短期)

青少年活動 配属先NGO Ba Futuru



今でもどうすれば演劇クラスを継続できたか考えます

◇隊員になったきっかけ

国際協力に関心があったため。

◇初めてのティモールに来たのはいつごろ、どのような形で、どれくらいの期間でしたか

2009年夏に大学提供科目の平和構築実習で2週間弱滞在しました。

◇赴任前に抱いていたイメージとの違いはありましたか？

赴任前に渡航経験があったのでイメージはうっすらともっていたのですが、短期間の旅行と長期滞在では見えてくるものに違いがあると感じました。

◇情勢、治安はどうでしたか

治安はよかったと思いますが、夜間の外出やタクシー利用は控えていました。

◇その時、流行っていたものがあればお願いします

ワールドカップ開催時期は職場もサッカーの話題で持ち切りでした。日本vsカメルーン戦のあとは同僚によく声をかけられました。また公式ソングのShakiraのwakawakaはうんざりするくらい流れていました。

◇滞在時の耐えられなかったこと、うまくいかなかったことを教えてください。

前任のオーストラリア人ボランティアから配属先が運営するユースセンター提供の演劇クラスを引き継いだのですが、演劇経験がなく、かつ即興演劇を指導していたため、自分の知識や経験が足りず指導できませんでした。3ヶ月弱でクラスを廃止しました。

◇また、現在その時の状況をどう思われていますか？

自身の経験の欠如と、私ができることと前任者が築いた環境(現地人生徒が演劇とはこういうものだとして理解する、そうあるべき、したいと考えている)の不一致、この2つが大きな原因だったと思います。今でもどうすれば演劇クラスを継続できたかなあ、と考えることがあります。

◇その一方、これは本当によかったというものがあればお願いします

ユースセンターでは、他にも日本語クラスを開催していたのですが、現地の人々と密な関係を持てたことは貴重な機会でした。



「私の名前はフジナガケンです」
レイコ先生に日本語の名前をつけてもらいました！
と当時のことを楽しそうに話す青年も。



アドミニスタッフのミラはレイコが
エクセルの機能をたくさん教えてく
れたと当時を振り返る。

隊員の暗中模索の活動が歴史を作る

◇滞在時の珍事件などありましたらお願いします。

職場から帰宅後、部屋に備え付けられている棚の上
にアダルトDVDとコンドームがおいてあったことがあ
りました。ホテルに滞在していたので、すぐオーナー
に苦情を言い、それ以降はなかったです。

それと、起床後シャワーを浴びようとふらふらバス
ルームに向かおうとしたら、おなかにヤモリがへばり
ついていました。

他には、アタウロ島への旅行時、島唯一の外国人向
けホテルに滞在しました。豆電球の弱々しすぎる灯り
の下で食後にコーヒーを飲んでいたのですが、二杯目
のおかわりのときに、最初にも使用した砂糖瓶の中が
蟻だらけだということに気がきました。同行していた
アメリカ人同僚に伝えたところ、一瞬絶句したのちに
「貴重なタンパク源だね！」と言われて気にならな
くなりました。

◇帰られて感じた日本とのギャップがありましたか？

当時はメルパチ航空のバリ経由で渡航したのです
が、半年の任期終了後、バリに降り立った瞬間、なん
で発展しているんだろうと驚きました。特に日本との
ギャップは感じませんでした。

◇現在は何をされていますか

外務省で経済協力専門員をしています。

◇そこに至るまでのプロセスを教えてください

帰国後、半年間の浪人を経て国内大学院に進学。

2013年4月から現在の職場で働いています。

◇協力隊にメッセージをお願いします

この機関誌が出版される頃は、東ティモール初の長
期隊員が帰国する時期にあたるのでしょうか。東ティ
モールは協力隊の派遣が開始されてからまだ月日も浅
く、派遣前訓練の際も情報の少なさ等に不安があった
かもしれません。

OVとしては、皆様のご活躍を耳にするたびに、す
ごいなあと（他人事のようにですが）尊敬しています。
不安に負けず、隊員が暗中模索の中でひとつひとつ積
み重ねた活動が歴史を作っていくんだろうな、と思い
ます。

帰国したらぜひ、東ティモールのあれこれを肴に飲
みましょう。任期終了の時期はそれぞれですが、笑顔
で帰国するその日まで、お体に気をつけて、今、そこ
でしかできないことを楽しんでください。

(AKT)

あの人は今！？

ティモールが恋しくなって決めた協力隊参加

しもやま しほ
下山 志帆 さん (2010年4月～10月)

東ティモール初代青年海外協力隊員 (短期)

青少年活動

配属先NGO Ba Futuru



もっと現地の生活に近いところで暮らしたかった

◇初めてティモールに来たのは？

2003年に大学のゼミで開催されたスタディツアーで訪れたのが最初です。教授や先輩に頼み込んで、1ヶ月位の長期組として連れて行って頂きました。

◇隊員になったきっかけ

ティモールが恋しくなっていた頃、学生時代の先輩にティモールの協力隊募集のことを教えて頂いたことがきっかけです。

◇赴任前に抱いていたイメージと現実の違いは？

学生の時、ティモール東部のロスパロスに通算1年以上滞在していたので、ある程度はテトゥン語が分かるつもりで赴任しました。しかし、実際行って見ると、ディリの人々のテトゥン語は想像以上にレベルが高く、聞き取るのも一苦勞。正直、焦りました！

職場の雰囲気は思ってた以上に良かったです。スタッフは自分の仕事に誇りと責任をもって取り組んでいて、最初は自分なんか入る余地なさそうだなと感じました。なので、徐々にティモール人らしい緩さが見えてくると、何だかホッとしてしまいました(笑)

私が注意していたのは、スピーディに仕事することですかね。赴任前は、金融会社の管理部門で働いていたのですが、そこでは細部にこだわり、慎重に仕事をすることが求められました。しかし、赴任先ではあらゆることがサッサと進んでいくので、最初は戸惑いました。なので、その点は常に気を付けていましたが、なかなか癖は抜けないものです...

◇情勢、治安はどうでしたか？

比較的落ち着いていたと思います。ディリの海岸沿いにお肉やトウモロコシを焼いて食べさせてくれるお店が出ていて、夜は現地の人もお酒を飲みながら盛り上がりつつありました☆以前は見られなかった光景なので嬉しくなったのを覚えています。

◇滞在先はどちらでしたか？

サクラタワーホテルです。初めての隊員ということもあり、特に安全面を考慮してJICAの方が決めて下さいました。私自身は、もう少し現地の生活に近いところで暮らしたいなんて、贅沢なことを言っていましたけど...

◇滞在時の耐えられなかったこと、うまくいかなかったことを教えてください。

滞在先は比較的きれいなところでした。しかし、蛍光灯で明るく、床も壁も真っ白い部屋では、ヤモリや虫が出現すると非常に目立ちます。爬虫類や虫全般が苦手な私にとって、それが何より耐え難く、怯えて暮らしていました。思わぬところからヤモリが出てくる度に、心臓が止まりそうなくらい驚き、硬直してました。薄暗く木の壁とかの部屋なら、気付かず平穩に暮らせたはず...

配属先では、近所の子どもを集めて幼稚園のようなこともやっていましたが、ここの子ども達がやんちゃ過ぎてかなり手を焼きました。他地域の子どもとの交流イベントでは、強くライバル視し睨み合い、今にもケンカな雰囲気。ハンディクラフト教室では大混乱になり收拾がつかなくなる始末...男女ともやんちゃで、過去には泣かされたスタッフもいるとか。そんな子ども達も伝統的ダンスをお客さん



「シホは日本人じゃなくてティモール人！」
といわれる程の解け込みよう。



下山さんの料理の手際の良さは
今も語り草！



最初に好きになった気持ちを帰国の時まで忘れずに

に披露するときは、照れながらも人が変わったようにしっかりと踊るのがとても印象的で、私の好きな光景の1つでした。

◇これは本当によかったというものがあればお願いします
周りの人に恵まれていたことですね。赴任先の同僚、私たち以外の外国人ボランティア、活動で出会う地域の人たち、デイリで暮らす日本人の方々など、本当に恵まれていたと思います。これらの出会いのおかげで、充実した半年間を過ごせました♪

◇滞在時の珍事件などありましたらお願いします

一度ホテルの部屋のドアの鍵を壊されたことがありました。鍵がささなくて鍵穴を覗くと、折れた鍵が詰まっていたんです。どうやらスタッフが部屋を掃除しようとして壊してしまったらしいのですが、子どもじゃあるまいし、壊したら壊したって言ってよ！と突っ込みたくなりました。それ以外にも、気付いたら壊れていた...というのはよくありましたが。

また、大雨でデイリ市内が水浸しになったことは、今でも印象に残っています。赴任先の車がセダンタイプだったので中に水が流れ込み、いつ車が止まってしまってもおかしくない状況でした。私たちは車やドライバーを心配し、途中から歩いて帰ろうとしたのですが、ドライバーはそれを引き留め、行けるところギリギリまで送ってくれました。後日、水で道がよく見えずにケガをした人や、河口付近では流された人もいたという話を聞き、ドライバーの気遣いに本当に感謝しました。ちなみに、ドライバー自身は

帰宅後、流された鍋やフライパンを探しに行かされたそうですが...

◇帰られて日本とのギャップがありましたか？

空芯菜の炒め物です！昼食によくスタッフと一緒に空芯菜を炒めて食べていて大好きだったのですが、これが帰国後なかなか再現できず、ギャップを感じています。最近では、日本で手に入る空芯菜はきつと違うんだ、と考えることで無理やり納得しています。

◇帰国後から現在までのプロセスを教えてください

帰国後は、赴任前に入学していた大学院に戻りました。在学中は、学外でも国際協力の研修に参加したり、ティモールに関わるお仕事をお手伝いしたりしましたが、卒業後は半年ほど国際協力とは関係のないお仕事をしていました。今はまた新しい目標に向かって進み始めたところです。

◇協力隊にメッセージをお願いします

赴任されたばかりの方も、そろそろティモールが好きになってきたころでしょうか？私はティモールに足を踏み入れて、すぐティモールが性に合ってしまった、そのまま10年（長い...）。長期隊員のみなさんは、短期の私たちには計り知れない苦勞をし、様々な壁にぶつかることもあると思いますが、最初に好きになった気持ちを帰国の時まで忘れずにいて下さいね！帰国後は是非色々とお話を聞かせて下さい♪そして、一緒にティモール好きを増やしていけたら嬉しいですよ♪

(AKT)

あの方は今！？

「無ければ作る」で充実した3年間に

おくむら まさみ

奥村 将巳 さん (2008年8月～2011年10月)

元・JICA東ティモール事務所員

JICA本部 東南アジア・大洋州部東南アジア
第三課 (ベトナム) 兼第四課 (ミャンマー)



デイリから出られず週末をどう過ごすかが大きな課題でした

◇初めてティモールに来た際の印象を教えてください。

2008年8月にJICA東ティモール事務所の所員として着任しました(～2011年10月)。妻と二人で着任し、離任するころには2歳になった息子と3人で帰国しました。(そして妻は第二子妊娠中でした)

赴任前は東ティモールのおおよその位置や紛争国であること、独立闘争を率いたシャナナグスマン首相の存在は知っていましたが、具体的な歴史、インドネシアとの確執、治安状況などについては全くイメージが湧かず、果たして東ティモールで自分がやっていけるのか、非常に不安でした。

◇当時の仕事内容や周りの環境、また治安情勢などは？

駐在中の大きな仕事としては、まず円借款事業の立ち上げです。東ティモールに円借款を供与するというのは、着任当初は全く考えられないことだったのですが、安定的な経済成長や治安の劇的な改善もあり、今後の経済成長を睨んだインフラ整備が急務となっていたところ、本部と事務所が二人三脚となって無事に借款契約締結にまで至りました。(残念ながら締結は小生の帰任後。残念!) もう一つ大きな出来事は協力隊事業の立ち上げです。初めてパフトゥルを訪問し「青年海外協力隊事業というのがあるけど、興味ある?」と聞いたのが確か2009年2月。その後、無事に案件が形成され、2010年4月から短期の協力隊員2名がついに東ティモールの地に降り立ちました。2011年6月には長期隊員が着任し、もうすぐ10名に達すると聞き、感慨深いものがありますね。

紛争国から復興期を経て、2009年頃から「Goodbye Conflict, Welcome Development」という掛け声が聞かれるようになり、JICAの事業も「開発」を主眼に置いたものへとシフトしていきました。他の海外事務所は軒並み人員削減の波にもまれていたにも関わらず、東ティモール事務所は着任当初の所長からナショナルスタッフを含め7名という少人数(掃除は所員全員で毎週やっていました!)から、私の離任時には全員で11名とほぼ倍増しました。

治安については、着任した年はラモス・ホルタ大統領銃撃事件が2月にあり、事務所の安全対策方針で業務外でデイリ市外へ出かけることは禁止されていました。なんとクリストレイの裏側ビーチまで、一時期は行けない地域になっていたことも。週末はずっとデイリ市内から出られず、アタウロ島を眺めながらビールを飲むくらいが楽しみでしたかねえ。

◇当時の生活について教えてください。

住まいはベモリのメノアハウスでした。今はデイリ市内にきれいなコンパウンドが沢山ありますが、当時はあれでも高級コンパウンドの一つ(?)でした。今にして思うと、協力隊の皆さんと住環境はあまり変わらなかったかも。雷が鳴るとパソコンが壊れたり、家の中から小さな虫が沢山這い出してきたり、インターネットはダイヤルアップ接続、メールのダウンロードだけで何時間もかかったりとなかなか大変でした。

当時は(今もそうですが)デイリ市内に娯楽施設などなく、週末をどう楽しく過ごすかは精神衛生上大きな課題で



ご家族そろってのシャナナ・グスマン
首相との記念写真



ワニーズについてはこちら

<http://www2.jica.go.jp/hotangle/asia/castimor/000795.html>

奥村さんの子育て日記はこちら

http://www.timor-leste.cmb-japan.go.jp/column_okumura.html



自身の足跡をしっかりと東ティモールに

した。そこで当時の悪友らと共謀し、日曜日のソフトボール、あのワニーズを2008年11月に立ち上げました。私は初代マネージャーです。

UNTLヘラキャンパス付属グラウンドや、クリストレイに上る階段下の広場（当時は整備がされておらず、原っぱ）で、女性や子供も交えてやっていました。朝7時集合で峠を越えてソフトボールをしに行っていました。そのあとは海辺でビールを飲んだりバーベキューをしたり、とっても楽しかったですね。

バドミントンサークルも作りました。毎週土曜の午後に古ぼけた軍の施設で、多国籍なメンバーでバドミントンをやっていました。私は初代キャプテンですが、二代目はK松さん、三代目はこの機関誌編集長の阿久津さんです。興味のある方、ぜひ編集長に連絡を取ってみてください！

うちは小さな子供を連れて赴任していましたが、行ってみて思ったのは、医療面での不安はあるものの病気や怪我さえしなければまあなんとかやっていけるやん！ということです。東ティモールにいらっしゃる方は单身の方も多いですが、一緒に赴任までは難しくても、ぜひご家族の方には一度ティモールを訪れていただき、この若い国を家族で見えていただくことをおすすめします。

◇処世術や気構えなど教えて下さい

東ティモール生活をいかに楽しく過ごすかは、工夫が大事！「無ければ作る」です。うどんがなければみんなでうどんを打ち、おいしいケーキがなければみんなで作る。とんこつラーメンが食べたければ、骨から作る。刺身が食べ

たければ海から魚を取ってくる。日本ではできない体験天国が東ティモールです。

仕事は思ったように進まないのが普通ですので、「忍耐力、許容力、あきらめ力」を養いつつ、本当に大事なところは自分自身が動いて解決していくという心構えが大事です。市内をぶらぶらしていると、なかなか会えないはずの大臣クラスの人に会うことも多く、捕まえてお話しちゃう！なんてこともできますので、小さな世界を逆手に自由にやれば仕事も生活も楽しくなりますよ。

◇協力隊にメッセージをお願いします！

東ティモールはまさにこれから発展を迎える若い国ですが、やはり人材の質・量ともに他国と比べて貧弱であり、今後ASEAN加盟を目指す中で、地域内での競争にどうやって対応していくのか、東ティモールとしての生きる道筋が必要です。あまりに小さく、石油・天然ガス以外の外貨獲得源に乏しい東ティモールは、グスマン首相が推進するSDP（戦略開発計画）に基づいて国造りを進めています。更にその先、2030年以降どのような国になっていくのか、国民と政府の更なる対話を何十年もかけて継続し、国造りを行っていくことになると思います。その意味で、その発展過程に直接的に関わることができる皆さんはとっても面白い時期に東ティモールにいらっしゃいますし、東ティモールの人々からの期待も大きいと思います。ぜひご自身の足跡をしっかりと東ティモールに残してください。

(AKT)

東ティモールにおける高等工学教育の支援に携わって



JICA東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト

かざま ひでひこ
風間 秀彦 チーフアドバイザー

－ 国際協力の始まり －

筆者は39年間、大学で土木工学の地盤工学などの教育・研究に携わってきました。20年以上前も留学生の教育や研究指導も行っていましたが、それ以外の国際協力は全く無縁でした。これは現在の様に1ドルが100円前後の円高ではなく、国際交流が活発に出来る状況になかった事も一因でした。

国際協力の始まりは、1990年頃にタイ政府で、工業発展の為に高等工学教育を重視し、タマサート大学等、幾つかの大学に工学部を設立する事になりました。その為、JICAは1993～2000年にタマサート大学工学部を支援しました。このプロジェクトにおいて土木工学科に高度な機材を供与する為に仕様作成と機種選定の依頼があり、それに対応しました。

それから2年ほど後、実験と研究指導に来るようとの要請があり、短期専門家として3回指導に派遣されたのが始まりです。

－ 当初の東ティモール国内 －

21世紀最初の独立国の東ティモール政府から日本政府に東ティモール国立大学工学部の支援の要請があり、JICAは2003年から調査団の名目で支援を開始しました。タマサート大学を支援した経緯もあって、東ティモールや大学の実情を把握して来るようとの依頼があり、2003年にはじめてデリを訪れました。

デリ空港から中心街までの第一印象は「これは大変な所に来てしまった」というのが正直な感想で



あり、その光景は今でも鮮明に記憶に残っています。沿道の至る所に焼き討ちされた建物、破壊されたインフラ、構造物、多くの国連軍とその車、疲弊した国民など、テレビで見たイラクやアフガンの光景と同様でした。その後も治安維持の為に国連軍が駐留していました。スーパーの狭い通路では、外国人兵士が携帯する機関銃に触れてしまったり、レストランのテーブルの上にはそれが何気なく置いてあったりしていました。もちろん安全装置がセットされているでしょうがぞっとすることもありました。

2006年の内紛以降、国内の治安は徐々に回復していきました。国連警察は昨年末までに全て撤退し、市内で国連の車も見かけることもなくなりました。

－ 東ティモールでの活動について －

初めてデリを訪れた翌年に上司が急逝した事もあって、筆者は調査団員や短期専門家として毎年土木工学科の教官指導に携わる事になりました。JICAプロジェクトは、2006年4月～2010年3月、および2011年2月～2015年1月に実施され、主に工学部教官を対象に支援が行われています。筆者は2008年3月の定年退職を機にプロジェクトのチーフアドバイザーとして着任し、毎年6ヶ月余り滞在してプロジェクト業務を遂行しています。チーフアドバイザーの業務はプロジェクトチームの責任者として、プロジェクトの目的と活動に基づいて企画・計画の立案・調整を行い、円滑に活動出来る様にする事です。





東ティモール政府、東ティモール大学の首脳部、カウンターパート（工学部教職員）、JICA本部、現地JICA事務所、支援大学等の関係者との協議の機会が非常に多いため、事務能力や交渉能力が要求され、専門知識を活用する機会が少ないのは残念に思っています。

高等工学教育支援に携わって10年になり、東ティモール大学や工学部教官等が大きく変わりつつあります。大学としての組織も順次整備されつつあり、2003年には工学部教官の修士号保持者は0名でしたが、現在は32名（約54%）が修士号を取得し、更に3名の教官が日本などで博士課程に留学しています。日本等の支援のお陰で教官の教育・研究能力やモチベーションが向上しつつあるとともに、教育・研究機材や環境が整備されてきており、今後の発展が期待されると思います。

- この10年を振り返って -

この10年を振り返ってみると、治安、インフラ関係、商業や流通、交通、国民生活等、ディリ市内は驚くべき復興・発展をしたと言えます。10年前は人、車、バイクの数は大幅に少なく、商店、スーパー、現地の市場、レストラン、電気・車関係の店も非常に少なかったです。東ティモールで販売されている商品はほとんどが輸入であり、売り切れると次の入荷まで商品がないことは珍しくありません。全てのスーパーから卵、玉葱、牛乳、ビール等の食料品が2～4週間全く販売されない事もあります。昨年2月末から3月初めにかけてペットボトル入りの飲料水が大きなスーパーから姿を消し、順次小売店にも波及しました。

もしこれが日本ならば国民がこぞって買いあさりますが、ティモール人は買い求めるどころか、あまり心配もしないので、社会的な混乱はほとんど発生しませんでした。ある外国人は「生活に必要な品物は売っているときに買っておかないと、生活ができなくなる」とまで言っています。

東ティモールに在住している日本人は100余名、さらに短期の滞在者が30名程いると言われています。これらの日本人は、日本大使館、JICA、国連、コンサルタント、建設工事、NGOなどの関係者で、そのほとんどが首都ディリやその周辺に住んでいますので、機関や業務分野を超えた横の繋がりが極めて強いです。

例えば、歓送迎会、忘年会、カラオケ大会、ソフトボール、バドミントン、旅行、趣味の集いなど20代～70代の方々が参加し、情報交換や親睦を深めています。これもこの小さい国だからこそ出来ることであり、東ティモール生活をエンジョイすることが出来ています。



(KWNS)

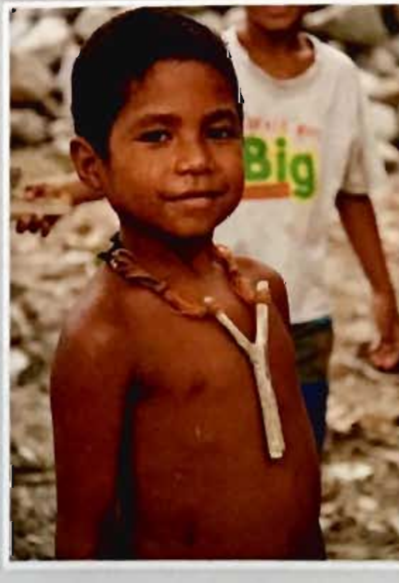


Omi先生の面白テトウン語のコーナー - ibun boot -

ibunは口、bootは大きいの意味から、たくさん話すおしゃべりの意味に。応用でibun laisは口が早いの意味から、同じ意味合いで使われます。

フォトギャラリー





ナショナルスタッフGhanaさんのティモール名所案内！

From my point of view, there are many best places in Timor-Leste. From Oecusse District, there is a monument from Portugal, and the name is known well as Lifau. If you go to Manufahi, there is a monument of Dom Boa Ventura well known as a Timorese fighter against Portugal. If you go to Ainaro, Maubisse and Ermera, then you will get a beautiful view of Mt. Kablaki and Ramelau as well as fresh air. If you go to Maliana then you can experience Marobo natural hot spring. If you trip from Dili to Baucau then mostly all the way you trip in beach side and in Baucau you will see Mt. Matebian, as a historical place where in Indonesian time Mr. Xanana currently as (Timor-Leste Prime Minister) also hide there from Indonesian attack or assault, as well as you will experience a fresh air at Watabo beach. From Baucau you can go to Lospalos, from Tutuala you will see a very nice view of Jaco island. Then if you go to Viqueque, do not forget stay a second in Venilale to see the historical place (7 holes) which dug by Japanese people or well known as Gua 7. Then from Ossu sub-district you will see a very beautiful view in Larigutu including Mount Monte perdido. And Dili itself, come and visit Cristo Rei, Statue of Pope John II at historical place tasi-tolu. Come and experience a great adventure in Timor-Leste. We are welcomed you anytime.

生徒が山で卒倒！？

生徒と3日間山で過ごすプログラムでエルメラ県に行きました。ルリックという土着の神様がいるというその山のふもとでキャンプを張ったんですね。その夜ミーティング中に、一人の女生徒が叫んで倒れちゃったんです。生徒たちは神様に対する信仰が足りなかったから犠牲になったって言い始めて、楽しかった雰囲気は急に重くなり、泣き出す子もいたりして...
でも、翌日には女生徒もほかの生徒もけろっとしてました(笑)

扇風機より良く回る？扇風機の値段

老舗百貨店リーダーでのこと。90ドルの扇風機が60ドルに値引きされているので買おうとしたら、電気担当から「セール期限が過ぎていたのに気が付かなかった。値引きなしの90ドル」と言われた。売れないから在庫処分してるだろうに変に杓子定規なところが...仕方なく、値引きの紙がついていない別の90ドル程の扇風機に変更し、レジへ支払いに。するとレジでちょっと待てと言われ、なんと60ドルに！得したような気がするけど...

ティモール最先端医療事情！

チンドラニータクリニック。“最先端の医療”がそこにはあります。なんと先生の出す指の本数を数えられたかどうかで視力が判明するのです！しかも距離は適当。ちなみに私の視力は確か3本？いや5m？

某隊員の腸チフス体験談

はじめに症状があったのは、大晦日におなかを壊した時です。その日は日本人の忘年会があって、そこで魚を捌いてお刺身を作ったんです。腸チフスって、脱糞から感染するみたいで、僕のさばいた魚から他に感染者がでなくて本当によかったです。正月に微熱がでて、はじめは風邪だと思ったんですけど、下痢と微熱が一週間位続いたんです。10日後ぐらいに遂に病院に行きました。

血液検査して感染症があると言われました。それが腸チフスだったんですけど、処方された抗生物質を1週間ぐらい飲んで、ひどくなる一方...それで、違う病院に行って、別の抗生物質を処方されてのんだら、2日で治りました。

食欲はないし、お腹は下すしで、体重が減って。体重が急に減ると、体力がなくなるんですね。うち二階建てなんですけど、トイレに行くのに階段を降りる必要があって、それがすごく疲れました。息切れするくらい。だから、トイレに行く度に、しばらく休んでから2階に上がっていました(笑)

もう一度読み返すアナタへ！【編集部員コードネーム】

実は編集部員はそれぞれ[AKT] [HRSW] [KWNS]というコードネームを持っているのだ！各記事の文末にさりげなくコードネームが書かれているのに気付いたかな！？HADOMI no DAMEをもっと楽しみたいアナタは、どの編集部員がどの記事を担当したのかをチェックしながら読み返してみると、編集部員のキャラが見えてくるかも！？

～編集後記～

国外逃亡初代編集長

阿久津寛美 [AKT]



「機関誌ってなんですか？」

これは創刊号編集長の私の発言。機関誌作成のお話を頂いたのは4月のこと。他国の機関誌に遭遇するであろうドミトリーは東ティモールではなく、訓練所も東日本大震災直後で大阪だったため、そのようなものを目にすることなくやってきました。まさに右も左もわからないスタート。そんな我々ですが眠れない夜を越え、多くの方の協力を得てなんとか完成にこぎつけました。あとは東ティモール機関誌「HADOMI no DAME」が多くの方に読まれ、今後も続いていくことを願うばかりです。

この場をかりて、みなさまありがとうございました！

山籠もり技術屋 原澤研二 [HRSW]



ティモールのHADOMI (愛)とDAME (平和)のつまった機関誌が完成！

思い返すと訓練所時代にティモールの機関誌がなく、同期が任国の機関誌を楽しそうに読んでいるのを羨ましく思っていました。後輩隊員のみなさん！訓練所で熟読してください！

他国と比べたらまだまだの機関誌かもしれないけど、今後細く長くティモールの横顔を捉え続ける雑誌になってくれればいいな～と期待しています。

嫌になるほどパソコンとにらめっこしたけど、もうそれも終わりだと思えば寂しくもあります。ともあれ編集部活動楽しかったです！



体調不良部員

河西啓至 [KWNS]



初めて機関誌を東

ティモールで作成するにあたって、正直期限内に完結するのか不安でした。

しかし、阿久津隊員のリーダーシップ、原澤隊員の細部にまでこだわった編集、山根調整員のサポート & おいしい手料理のおかげでとても素晴らしい機関誌創刊号が出来たと思います。

今回の機関誌は色々な人の思いがいっぱい詰まっております。どうか出来るだけ沢山の人に見て頂いて、東ティモールの人々やそこで活動する隊員達について興味を持って頂けたら嬉しいです。

みなさん本当にお疲れ様でした！

すーぱーばいざー

山根幸子



[Sachiko]

ほんと～にお疲れ様でした！河西さんは赴任直後に半強制的に編集部員に任命され(笑)、原澤さんはMacユーザーだからと編集作業を押し付けられ(笑)、阿久津さんには個性&自己主張たっぷりて収集のつかない編集部員をまとめて頂きました。3人にはいくら感謝しても足りません。

久しぶりに協力隊員の強い団結力の輪の中で楽しく居心地の良い時間を過ごさせて頂きました。編集部のみなさんのおかげで、胸を張って他の関係者に見て頂ける内容になったと思います。

この創刊号に込めた私たちの思いをこれから代々引き継いでいってもらえることを願いつつ…。

HADOMI no DAME創刊号、万歳！

機関誌創刊を記念してJICA東ティモール事務所の敷地に白檀の木を植樹しました。

(写真上: 編集部記念写真はその前で 写真右: 植樹の様子)

白檀はかつてティモールに多く自生していた、貴重な天然資源の一つでしたが、ポルトガル時代、インドネシア時代でそのほとんどが伐採されてしまいました。東ティモールとこの小さな白檀の苗の成長を今後も機関誌HADOMI no DAMEが追い続けたいと思います！

HADOMI no DAME編集部 (MAIL : hadomi.no.dame@gmail.com)

HADOMI no DAMEにご協力頂いた皆さん

高田裕彦 JICA東ティモール事務所長

JICA東ティモール事務所員のみなさん

藤長礼子さん 青年海外協力隊OV (短期)

下山志帆さん 青年海外協力隊OV (短期)

奥村将巳さん JICA職員

風間秀彦 JICA専門家

山内洋一 JICA専門家

久木田旺大 さん

横山雅子 国連職員


Jeronimo do Rego Towares さん

Joana Cristina Rodorigues さん

Sachiko

東ティモール青年海外協力隊員のみなさん





東ティモール工芸品のタイスという織物は、鮮やかな色使いが大きな特徴のひとつです。地域ごとに、柄が異なっています。タイスの歴史はとても古く、ポルトガルが入植する以前、450年以上前から織られ衣服として使われていたそうです。現在はバッグなどの小物、インテリア等として使われることが多く、衣服としてはあまり使われなくなってきていますが、お祭り等祭礼の時には、今もタイスで作られた服を着ます。東ティモールでは、服を「着る」ことを「ハタイス」といいます。ハは接頭辞で、これを名詞につけると動詞になります。つまり、タイスにハをつけた「ハタイス」という言葉が、着るという意味になっています。タイスを相手の首にかけることで東ティモールでは尊敬の念を現わし、大事なお客さんへの贈り物としても使われています。

「東ティモールの人にとって、タイスとはどんなものですか？」と聞くと、冠婚葬祭などに欠かせないもの、先祖代々受け継がれてきたもの、中には東ティモール人のアイデンティティだと答えた人もいました。タイスは東ティモールの人たちにとって、単なる織物の域を超えた、とても大切なものなのです。